

# I 類 事務 専門 問題

平成23年5月施行 特別区職員 I類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意

- 1 問題集は36ページ、解答時間は1時間30分です。
- 2 問題は全部で55問あり、このうち40問を任意に選択して解答してください。  
40問を超えて解答した場合は、【No. 1】以降解答数が40に達したところで採点を終了し、40を超えた分については採点をしないので、注意してください。
- 3 解答方法は次のとおりです。  
例【No. 1】東京都にある特別区の数はいくつか。  
1 21    2 22    3 23    4 24    5 25  
正答は「3 23」なので、解答用紙の問題番号の次に並んでいるマーク欄の「① ② ③ ④ ⑤」の中の「③」を鉛筆で塗りつぶし、「① ② ● ④ ⑤」とマークしてください。
- 4 解答は必ず解答用紙にマークしてください。問題集にマークしても採点しません。
- 5 解答用紙への記入に当たっては、解答用紙の（記入上の注意）をよく読んでください。
- 6 各問題とも正答は一つだけです。マークを二つ以上付けた解答は誤りとして扱います。
- 7 計算を要する場合は、問題集の余白を利用してください。解答用紙は絶対に使ってはいけません。
- 8 問題集は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

【No. 1】 日本国憲法に規定する衆議院の優越に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 衆議院が内閣総理大臣の指名の議決をした後、国会休会中の期間を除いて十日以内に参議院が指名の議決をしないときは、衆議院の議決が国会の議決となる。
- 2 参議院が衆議院の可決した法律案を受け取った後、国会休会中の期間を除いて六十日以内にその法律案の議決をしないときは、直ちに衆議院の議決が国会の議決となる。
- 3 条約の締結に必要な国会の承認について、衆議院で可決し、参議院でこれと異なった議決をした場合、衆議院で出席議員の三分の二以上の多数で再び可決されたときは、衆議院の議決が国会の議決となる。
- 4 参議院が衆議院の可決した予算を受け取った後、国会休会中の期間を除いて三十日以内に議決しないときは、衆議院は参議院がその予算を否決したものとみなすことができる。
- 5 憲法改正について、衆議院で発議し、参議院でこれと異なった発議をした場合、衆議院で総議員の三分の二以上の賛成で再び発議したときは、衆議院の発議が国会の発議となる。

【No. 2】 日本国憲法に規定する内閣総理大臣に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 内閣の意思決定は内閣総理大臣が主宰する閣議によってなされるが、その閣議の議事は慣習によるものではなく憲法に規定されている。
- 2 内閣総理大臣が欠けた場合、又は衆議院議員総選挙の後に初めて国会の召集があった場合は、内閣は総辞職をしなければならない。
- 3 政令には主任の国务大臣が署名し、内閣総理大臣の連署が必要であるが、内閣総理大臣自らが主任の大臣として政令に署名することはない。
- 4 内閣総理大臣は任意に国务大臣を罷免することができ、その罷免に関して天皇の認証は必要ない。
- 5 国会議員であることは内閣総理大臣の資格要件であるので、衆議院の解散により議員の資格を失った場合は、直ちに内閣総理大臣の地位を失う。

【No. 3】 日本国憲法に規定する思想及び良心の自由に関する記述として、最高裁判所の判例に照らして、妥当なのはどれか。

- 1 企業が採用に当たって、志願者の思想やそれに関連する事項を調査すること及び特定の思想、信条の持主の採用をその故を以って拒否することは、違憲であるとした。
- 2 高等学校受験の際の内申書における政治集会への参加など外部的行為の記載は、受験生の思想、信条を記載したものであり、受験生の思想、信条自体を高等学校の入学選抜の資料に供したものであると解されるので、違憲であるとした。
- 3 税理士法で強制加入とされる税理士会が政治資金規正法上の政治団体に寄付をすることは、税理士会の目的の範囲外の行為であり、様々な思想、信条を持つ会員から特定の政治団体への寄付を目的として、特別会費を徴収する旨の総会決議は無効であるとした。
- 4 謝罪広告を判決で強制することは、単に事態の真相を告白し陳謝の意を表明するにとどまる程度のものであっても、個人の有する倫理的な意思や良心の自由を侵害するものであるとした。
- 5 長野方式における教員の勤務評定について、各教員に学習指導及び勤務態度などに関する自己観察の記入を求めたことは、記入者の人生観、教育観の表明を命じたものであり、内心的自由を侵害するものであるとした。

【No. 4】 日本国憲法に規定する職業選択の自由に関する記述として、最高裁判所の判例に照らして、妥当なのはどれか。

- 1 小売市場開設許可に関する距離制限を定める規制では、緩やかな合理性の基準を適用し、過当競争による小売商の共倒れから小売商を保護するという消極的、警察的目的の規制であると判断して、立法裁量を尊重し、距離制限を合憲とした。
- 2 昭和30年の公衆浴場開設許可の距離制限に関する判決では、公衆浴場の偏在によって利用者の不便をきたし、濫立によって経営に無用の競争が生じるおそれはあるが、その結果、衛生設備が低下するとはいえないとして、距離制限を違憲とした。
- 3 薬局開設許可に関する距離制限を定める規制では、立法事実を検討し、制限が国民の生命及び健康に対する危険の防止という積極的、政策的目的のための規制措置であると判断した上で、その目的を達成するために必要かつ合理的な規制とはいえないとして、距離制限を違憲とした。
- 4 繭糸価格安定法改正による生糸の輸入制限は、養蚕業及び製糸業を保護するための法的規制措置であるが、売渡方法や価格について規定している点で営業の自由に対する制約であることは明白な事実であるとして、輸入制限措置を違憲とした。
- 5 酒類販売業の免許制は、租税の適正かつ確実な賦課徴収を図るという国家の財政目的のための規制であり、その必要性和合理性についての立法府の判断が、政策的、技術的な裁量の範囲を逸脱し、著しく不合理であるとまでは断定し難いとして、免許制を合憲とした。

【No. 5】 日本国憲法に規定する請願権に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 請願権は、日本国憲法で保障されたものであるから、日本国憲法の改廃は請願の対象とはならない。
- 2 選挙権を有する日本国民は、請願権を有するが、選挙権を有しない外国人や未成年者は、請願権を有しない。
- 3 請願は、国の機関に対して行うことができるが、天皇は国政に関する権能を有しないため、天皇に関する請願は認められない。
- 4 請願権の保障は、請願を受けた国や地方自治体の機関にそれを誠実に処理する義務を課し、請願の内容を審理及び判定する法的拘束力を生ぜしめる。
- 5 請願は、請願者の利害に関するものである必要はなく、国や地方自治体の機関に対して、その職務権限に属する事項について要望を述べる行為である。

【No. 6】 行政法の法源に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 条例は、憲法で地方公共団体に条例制定権を承認しているため、行政法の法源となるが、地方公共団体の長が定める規則は、行政法の法源にはならない。
- 2 法源には、成文の形式をもって制定する成文法源と慣習法のように文章では表されない不文法源があり、最高裁判所の判決は、先例として大きな影響力を持つことが多いので、行政法の成文法源となる。
- 3 命令は、法律の委任に基づく委任命令と法律を執行するための細目について規定する執行命令に限られ、行政機関によって制定される内閣府令や省令も行政法の法源となる。
- 4 条約は、国家間又は国家と国際機関との間の文書による合意であり、国際法上の法形式であるが、国内法としての効力を持つものではないので、行政法の法源にはならない。
- 5 法律は、国権の最高機関である国会の議決により制定される法形式であるから、最上位の成文法源である。

【No. 7】 行政法学上の行政行為の附款に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 条件は、行政行為の効力の発生、消滅を発生不確実な事実にかからしめる附款で、成就により効果が生ずる停止条件と成就により効果が失われる解除条件がある。
- 2 期限は、行政行為の効力の発生、消滅を発生確実な事実にかからしめる附款で、到来時期が不確定な期限を付すことはできない。
- 3 負担は、行政処分に付加して特別の義務を課すもので、定められた義務を履行しなかった場合、行政処分の効力は当然に失われる。
- 4 附款は相手方に不利益を与えるものであるもので、無制限に許されるものではなく、法律が附款を付すことができる旨を明示している場合のみに付すことができる。
- 5 附款に瑕疵があり、その附款がそれほど重要ではなく行政行為の本体と可分である場合でも、附款だけの取消しを求めることはできない。

【No. 8】 行政手続法に規定する行政指導に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 申請の取下げ又は内容の変更を求める行政指導にあつては、行政指導に携わる者は、行政上特別の支障があるときに限り、申請者が当該行政指導に従う意思がない旨を表明しても当該行政指導を継続しなければならない。
- 2 行政指導は、相手方に対して、当該行政指導の趣旨及び内容並びに責任者を明確に示さなければならないので、行政指導を行う場合は、口頭ではなく、書面を交付しなければならない。
- 3 行政指導とは、行政機関がその任務において一定の行政目的を実現するため、特定の者に一定の作為又は不作為を求める指導、勧告、処分、助言に該当する行為である。
- 4 行政指導の最大の効用は、法律の不備や欠陥を補って新しい行政需要に機敏に対応するところにあるため、行政機関の所掌事務の範囲外の事項でも行政指導を行うことができる。
- 5 同一の行政目的を実現するため一定の条件に該当する複数の者に対し行政指導をしようとするときは、行政機関はあらかじめ事案に応じ、行政指導指針を定め、かつ、行政上特別の支障がない限り、これを公表しなければならない。

【No. 9】 行政法学上の即時強制に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 最高裁判所の判例では、川崎民商事件において、即時強制は、緊迫した状況において展開される緊急措置であり、令状主義を機械的に適用するのは困難なので、その手続における一切の強制は、当然に憲法に規定する令状主義の保障の枠外にあるとした。
- 2 即時強制は、執行機関の裁量に委ねられ、その要件、内容の認定や実力行使の程度、態様、方法を選択する場合、法規の趣旨目的を厳格に解釈し、相手方の人権侵害を最小限にとどめるよう配慮しなければならないが、比例原則は適用されない。
- 3 身柄の収容や物の領置などの即時強制が実施され、継続して不利益状態におかれている者は、行政不服申立て又は取消訴訟によって不利益状態の排除を求めることができる。
- 4 行政上の強制執行の定めは法律の専権事項であり、条例で強制執行の権限を創設することはできないので、即時強制の根拠を条例で定めることは、緊急避難的な措置であっても許されない。
- 5 即時強制は、義務者の身体又は財産に直接実力を加え、義務の履行を確保する手続であり、即効的に義務を実現することができるが、その反面、人権侵害の危険が大きい。

【No. 10】 行政法学上の損失補償に関する記述として、最高裁判所の判例に照らして、妥当なのはどれか。

- 1 河川附近地制限令の定める制限は、河川管理上支障のある事態の発生を事前に防止する目的の制限であり、何人も受忍すべきものであるから、同制限について同令に損失補償に関する規定がない以上、損失補償を請求することはできないとした。
- 2 自作農創設特別措置法に基づく農地の買収は、自作農創設を目的とする一貫した国策に伴う法律上の措置であることから、農地の買収価格は、自由な取引における他の価格と正確に適合する補償でなければならないとした。
- 3 行政財産たる土地につき使用許可により与えられた使用权は、それが期間の定めのない場合であれば、当該行政財産本来の用途又は目的上の必要を生じたときはその時点で原則として消滅すべきであり、使用权者は、特別の事情のない限り、取消しによる使用权喪失に関する補償を求めることはできないとした。
- 4 倉吉市都市計画道路予定地収用事件では、土地収用法における損失の補償は、特別な犠牲の回復を図ることを目的とするためであるが、完全な補償、すなわち、収用の前後を通じて被収用者の財産価値を等しくならしめるような補償までは必要としないとした。
- 5 福原輪中堤損失補償事件では、経済的価値でない特殊な価値であっても広く客観性を有するものは、土地収用法にいう「通常受ける損失」として、補償の対象となるとの見地に立ち、堤防の文化財的価値を補償の対象とした。



【No. 1 1】 民法に規定する意思表示に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 心裡留保による意思表示は、その意思表示の効果に影響を及ぼすので無効となるが、相手方が表意者の表示と内心の意思の不一致を過失により知らない場合は、その意思表示は有効となる。
- 2 相手方が行方不明のような場合には意思表示を到達させることが困難であるため、表意者が意思表示の相手方の所在を過失により知らないときでも、公示による意思表示の到達が認められる。
- 3 隔地者に対する意思表示は、表意者が通知を発した後に死亡し、又は行為能力を喪失した場合、当然に失効する。
- 4 表意者は、詐欺による意思表示を取り消すことができ、第三者が詐欺を行った場合には、相手方がその事実を知っていたときは、意思表示を取り消すことができる。
- 5 第三者の強迫による意思表示は、相手方が強迫の事実を知らなければ、表意者は当該意思表示を取り消すことができない。

【No. 1 2】 民法に規定する時効に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 請求、差押え及び承認は時効の中断事由になるが、仮差押え及び仮処分は権利者が債務名義を得ていない段階であるので、時効の中断事由になることはない。
- 2 給付の訴えは、裁判上の請求として時効中断の効力を生じるが、確認の訴え及び形成の訴えは、時効中断の効力を生じない。
- 3 債務者が破産したときに配当を申し出る破産手続への参加は、時効の中断事由であるが、その後、債権者が破産手続への参加を取り消し、又はその請求が却下された場合は時効中断の効力は生じない。
- 4 最高裁判所の判例では、抵当不動産の譲渡を受けた第三者は、抵当権の被担保債権の消滅時効を援用することができないとした。
- 5 最高裁判所の判例では、債務者が消滅時効の完成後に債務を承認した場合は、その承認以後再び時効期間が経過しても、債務者は再度完成した時効を援用できないとした。

【No. 1 3】 民法に規定する占有権に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 占有者がその占有を奪われたときは、占有回収の訴えにより、その物の返還及び損害の賠償を請求することができるが、悪意の占有者は、占有回収の訴えを提起することが一切できない。
- 2 善意の占有者は、占有物から生ずる果実を取得できるが、善意の占有者が本権の訴えにおいて敗訴したときは、占有開始時から悪意の占有者とみなされ、占有開始時からの果実を返還しなければならない。
- 3 占有者が占有物を返還する場合には、占有物の保存のために支出した必要費を回復者から償還させることができるが、悪意の占有者は、回復者に対して償還請求することができない。
- 4 悪意の占有者は、占有物が占有者の責めに帰すべき事由によって滅失又は損傷した場合、その滅失又は損傷によって現に利益を受けている限度において賠償する義務を負う。
- 5 占有者は、その善意、悪意を問わず、占有物の改良のために支出した有益費については、その価格の増加が現存する場合に限り、回復者の選択に従い、その支出した金額又は増加額を償還させることができる。

【No. 1 4】 民法に規定する地上権に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 地上権設定契約に存続期間の定めがない場合は慣習があればそれに従い、慣習がない場合は、存続期間の上限のみ定めなければならない。
- 2 地上権は、土地に対する直接の使用権であり、土地の所有者の承諾なしに、これを譲渡し、担保に供し、賃貸することができる。
- 3 区分地上権は、設定行為で定められた範囲以外の部分についての土地所有者の使用権限を奪うものではなく、その設定契約において、土地所有者が、区分地上権のために一定の使用をしないという制限を定めることはできない。
- 4 地上権者は、その地上権が消滅したときには、慣習がなければ土地を原状に復して工作物や竹木を収去することができないが、その土地の所有者が時価相当額を提供してこれを買収することはできる。
- 5 地上権は、地上権設定契約において無償で設定することはできないが、定期の地代によらないで、最初の設定時に一括して代価として支払うことはできる。

【No. 15】 民法に規定する質権に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 質権の設定は、債権者にその目的物を引き渡すことによって、その効力を生ずるため、同一の動産について数個の質権を設定することはできない。
- 2 質権者は、自己の責任で質物について転質をすることができ、この場合、転質をしたことによって生じる不可抗力による損失については、責任を負わない。
- 3 動産質権者が、第三者に質物の占有を奪われたときは、占有回収の訴えによってのみ、その質物を回復することができ、質権に基づく回復請求により、その質物を回復することはできない。
- 4 質権設定における目的物の引渡しには、簡易の引渡しはもとより、占有改定や指図による占有移転も含まれる。
- 5 質権者がいったん有効に質権を設定した後、質権設定者に質物を占有させても質権は消滅することはなく、動産質にあつてはその質権をもって第三者に対抗することができる。

【No. 16】 民法に規定する詐害行為取消権に関するA～Dの記述のうち、最高裁判所の判例に照らして、妥当なものを選んだ組合せはどれか。

- A 離婚に伴う財産分与として金銭の給付をする旨の合意は、その額が不相当に過大であり、財産分与に仮託してされた財産処分であると認めるに足りるような特段の事情があるときは、不相当に過大な部分について、その限度において詐害行為として取り消されるべきであるとした。
- B 債務者が特定の債権者に優先的に債権の満足を得させる意図の下に、特定の債権者と通謀し、債務の弁済に代えて第三者に対する自己の債権を譲渡したとしても、譲渡された債権の額が債務の額を超えない場合であれば、当該債権譲渡は詐害行為として取り消しの対象にならないとした。
- C 不動産引渡請求権者が債務者による目的不動産の処分行為を詐害行為として取り消す場合には、直接自己に当該不動産の所有権移転登記を求めることはできないとした。
- D 不動産物権の譲渡行為が債権者の債権が成立する前になされ、当該債権成立後に所有権移転登記が行われた場合には、物権の譲渡と登記は一体の行為であって、登記は債権発生後に行われたものであるから、当該譲渡は詐害行為取消権の対象になるとした。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

【No. 17】 民法に規定する相殺に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 第三債務者が、差押えによって支払いを差し止められた場合には、その後に取得した反対債権を自働債権として相殺しても、これをもって差押債権者に対抗できない。
- 2 相殺は、債権者と債務者とが相互に同種の内容の債権債務を持つ場合に、その債権と債務とを対当額において消滅させる意思表示であり、この意思表示には、当事者の合意があっても条件や期限を付することは一切できない。
- 3 当事者は、契約で生ずる債権に関しては契約により、単独行為で生ずるものについては単独行為によって相殺を禁止できるが、この相殺の意思表示の効果は、善意又は悪意を問わず第三者には対抗できない。
- 4 相殺は、弁済する場合の時間と費用を節減し、決済において当事者の公平を図るという機能があるため、相殺するには、当事者間に同種の目的を有する債権が対立して存在し、両債権ともに弁済期が必ず到来していなければならない。
- 5 相殺は、意思表示によって効力を生ずるから、相殺適状になっても相殺しない間に債権が時効により消滅すれば相殺適状がなくなってしまうため、自働債権が時効によって消滅した後は、相殺することができない。

【No. 18】 民法に規定する契約の解除に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 解除の効力が生じた後にその撤回を認めると、解除によって既に生じた効果が失われ、第三者が極めて不安定な立場に置かれるので、契約の相手方の承諾があっても撤回はできない。
- 2 AからBとCが共同で車を買った後、売主Aが契約を解除するには、AよりB、C両者に対する解除の意思表示が必要となるが、買主B、Cが契約を解除する場合は、B、Cの一人がAに対して解除の意思表示をすれば足りる。
- 3 当事者の一方がその債務を履行しない場合において、相手方が相当の期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履行がないときは、その催告は契約の解除の効果を直ちに発生させる。
- 4 債務者の責めに帰すべき理由により、契約成立後、履行期までの履行不能が確実になった場合には、履行期の到来を待たずに、その時から解除をすることができる。
- 5 定期行為の履行遅滞による契約の解除は、絶対的定期行為については催告をすることなく直ちに契約の解除をすることができるが、相対的定期行為については催告が必要となる。

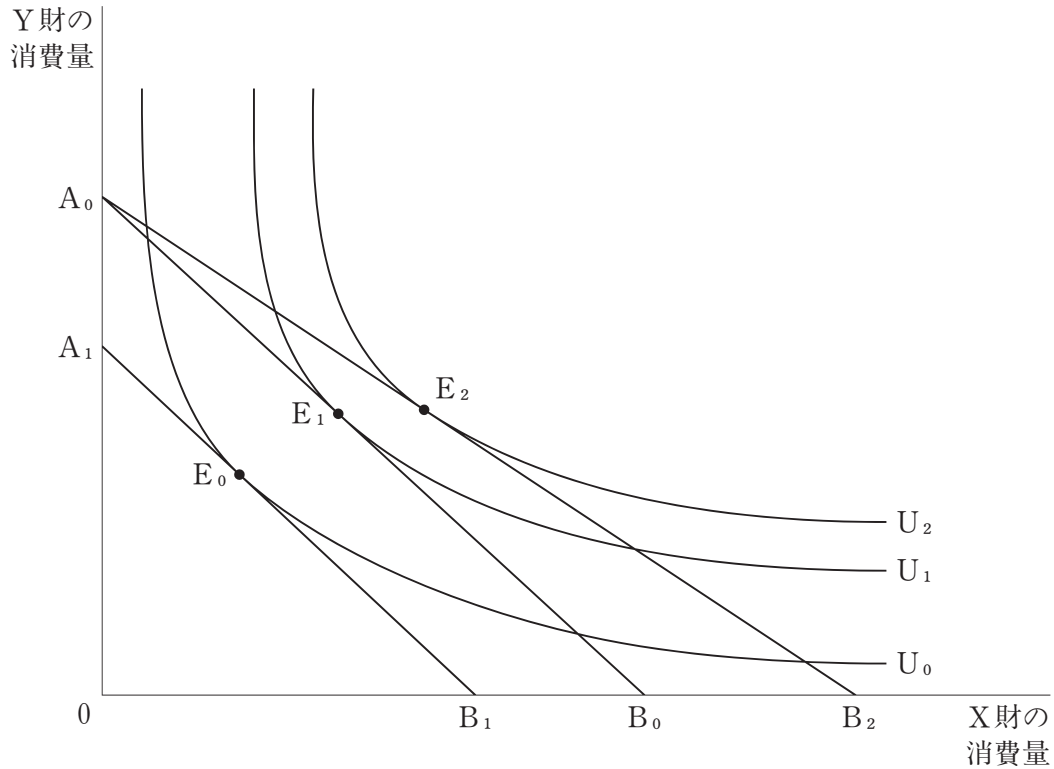
【No. 19】 民法に規定する不法行為に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 最高裁判所の判例では、未成年者が他人に損害を与えた場合に、未成年者が責任能力を有する場合は、監督義務者の義務違反と当該不法行為による結果との間に相当な因果関係があったとしても、監督義務者は不法行為責任を負わないとした。
- 2 最高裁判所の判例では、法人も名誉を侵害されることにより社会的評価の低下は有り得るから名誉毀損が成立し、損害の金銭評価が可能である限り、無形の損害の賠償も認められるとした。
- 3 最高裁判所の判例では、被用者がタンクローリーを運転中に事故を起こし、第三者に損害を与えるとともに使用者所有のタンクローリーに損害を与えた茨城石炭商事事件にて、労働環境の整備につき使用者側に問題がある場合には、信義則によって使用者は被用者に対して求償権を行使できないとした。
- 4 不法行為による損害賠償の方法は、損害を金銭的に評価して行う金銭賠償によるのではなく、損害を現実的、自然的に消去する原状回復によることを原則としている。
- 5 不法行為における故意又は過失の立証責任は、被害者にあり、加害者の行為と権利侵害ないし違法な事実との間に因果関係がないことを、加害者が証明することは一切ない。

【No. 20】 民法に規定する相続に関する記述として、妥当なのはどれか。

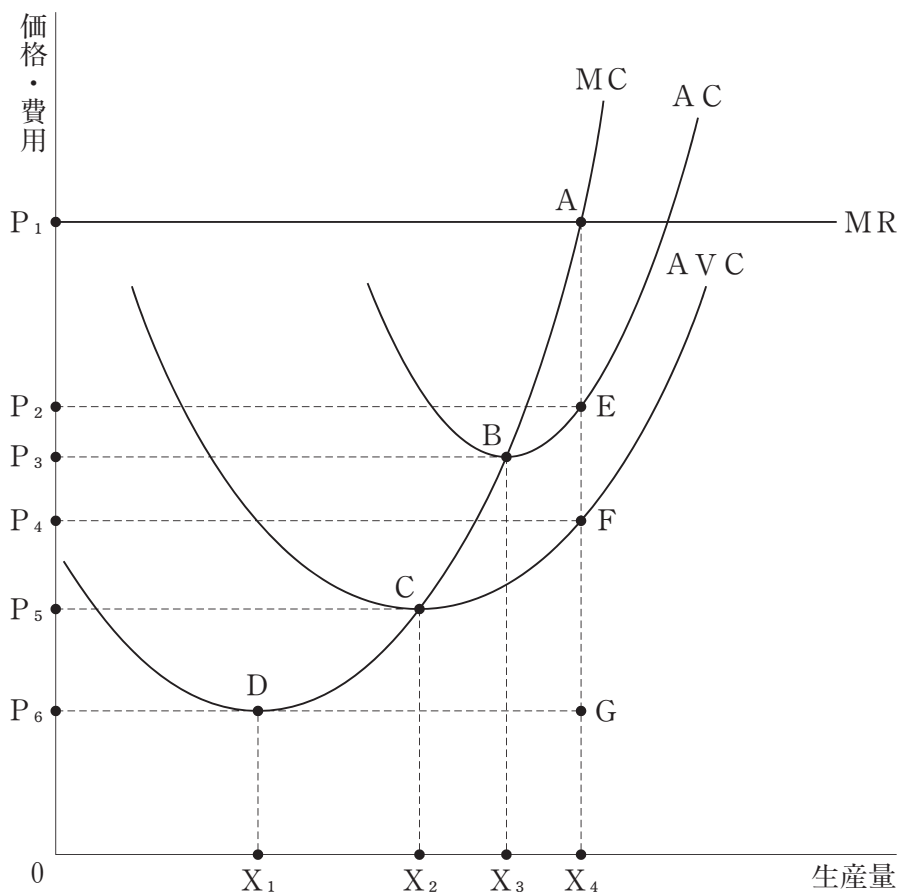
- 1 相続は死亡によって開始するが、失踪宣告は医学上の死亡判定ができないので、相続開始の原因にならない。
- 2 相続は相続人の住所において開始するとされ、相続をめぐる紛争が生じた場合は、相続人の住所を基準に裁判管轄が定められる。
- 3 相続財産の管理に必要な費用は、相続人の過失に基づく費用も含めて相続人全体の負担となり、その相続財産の中から支弁しなければならない。
- 4 被相続人Aの子Bが相続を放棄した場合には、Bの子Cには代襲相続が認められる。
- 5 被相続人Aの子Bが相続開始以前に死亡した場合には、Bの妻Cには代襲相続は認められない。

【No. 2 1】 次の図は、正常財であるX財とY財との無差別曲線を $U_0$ 、 $U_1$ 、 $U_2$ で、消費者の予算制約線を直線 $A_0B_0$ 、 $A_0B_2$ 、 $A_1B_1$ で表したものであるが、この図に関する記述として、妥当なのはどれか。ただし、直線 $A_0B_0$ と直線 $A_1B_1$ とは平行である。



- 1 無差別曲線は効用の大きさが同一になるX財及びY財の組合せを次々と結んだもので、無差別曲線 $U_0$ 上では、いずれの点も限界代替率は一定である。
- 2 X財の価格上昇のみによりX財とY財の相対価格比が変化したとき、予算制約線が $A_0B_0$ から $A_1B_1$ にシフトし、両財の消費量は減少する。
- 3 両財の価格が変わらないまま、所得が増加したとき、予算制約線 $A_0B_0$ は、 $A_0B_2$ にシフトし、最適消費点 $E_1$ は点 $E_2$ へ移動する。
- 4 両財の価格が変わらないまま、所得が減少したとき、予算制約線が $A_0B_2$ から $A_1B_1$ にシフトし、X財の消費量が減少する。
- 5 予算制約線が $A_0B_0$ のとき、無差別曲線 $U_1$ との接点である点 $E_1$ では、Y財のX財に対する限界代替率は、X財とY財の価格比に等しい。

【No. 2 2】 次の図は、完全競争の下での短期的均衡の状態において、縦軸に価格・費用を、横軸に生産量を取り、ある企業の生産する製品についての平均可変費用曲線を  $AVC$ 、平均費用曲線を  $AC$ 、限界費用曲線を  $MC$ 、限界収入曲線を  $MR$  で表したものであるが、この図に関する記述として妥当なのはどれか。ただし、点  $B$ 、 $C$  及び  $D$  はそれぞれ平均費用曲線、平均可変費用曲線及び限界費用曲線の最低点である。



- 1 製品の価格が  $P_1$  から  $P_3$  に低下した場合、平均費用は価格を下回り、利潤がゼロになる点  $B$  を損益分岐点という。
- 2 製品の価格が  $P_5$  で生産量が  $X_2$  の場合、損失は発生するが、可変費用と固定費用は賄うことができるので、企業は生産の継続を選択する。
- 3 製品の価格が  $P_6$  で生産量が  $X_1$  の場合、企業の最適生産量はゼロになり、この時の点  $D$  を操業停止点という。
- 4 短期供給曲線は、縦軸上の原点から  $P_5$  の部分と点  $C$  より右上の限界費用曲線  $MC$  上の部分によって示される。
- 5 製品の価格が  $P_1$  で生産量が  $X_4$  の場合、固定費用は平均固定費用に生産量  $X_4$  を掛けたものであるから、面積  $P_4 F G P_6$  に等しい。



【No. 23】 市場が、同じ財Xを生産する企業1、企業2からなる複占市場において、Xの需要関数が、

$$P = 40 - 0.5(Q_1 + Q_2) \quad \left[ \begin{array}{l} P : \text{財Xの価格} \\ Q_1 : \text{企業1の生産量} \\ Q_2 : \text{企業2の生産量} \end{array} \right]$$

で示されるとする。また、総費用関数は企業1、企業2ともに

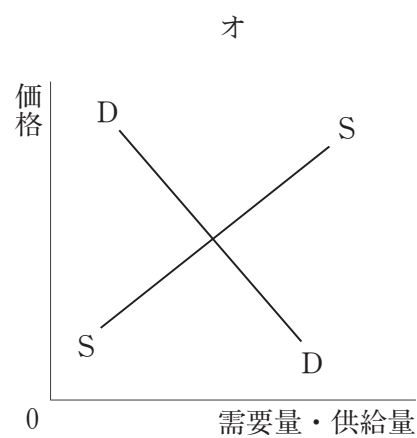
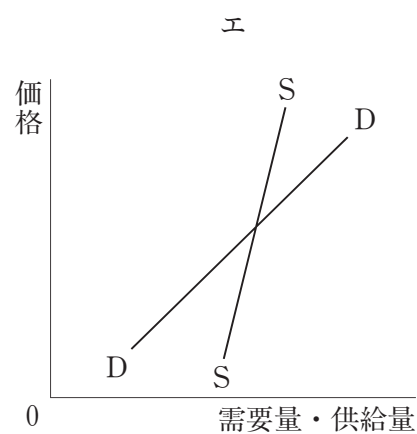
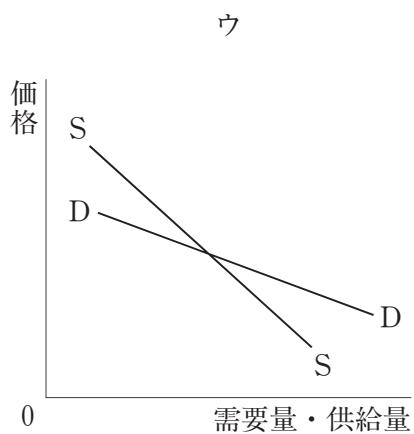
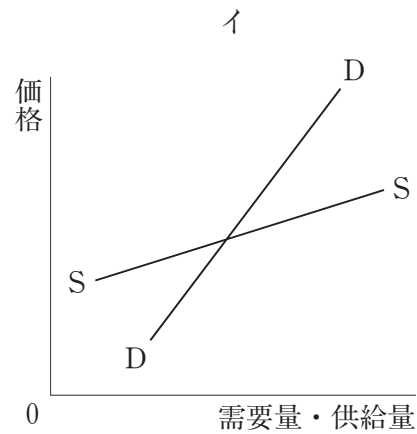
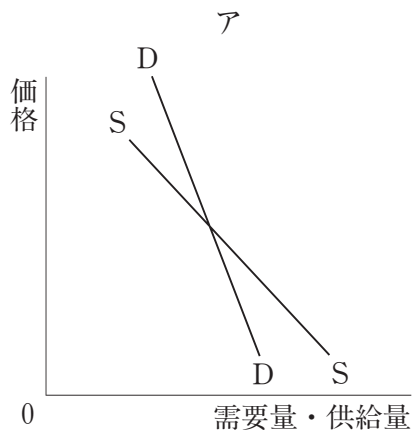
$$TC_i = 4Q_i \quad (i = 1, 2)$$

で示されるとする。

このとき、クールノー均衡における財Xの価格と企業1、企業2の生産量の合計の組合せはどれか。

	価格	生産量の合計
1	16	48
2	22	36
3	28	24
4	34	12
5	37	6

【No. 24】 次の図ア～オは、縦軸に価格を、横軸に需要量・供給量を取り、市場におけるある商品の需要曲線をDD、供給曲線をSSで表したものであるが、このうちワルラス的調整過程において、均衡が安定であるものを選んだ組合せとして、妥当なのはどれか。



- 1 ア イ エ
- 2 ア ウ エ
- 3 ア ウ オ
- 4 イ ウ オ
- 5 イ エ オ

【No. 25】 情報の不完全性に関するA～Dの記述のうち、妥当なものを選んだ組合せはどれか。

- A モラル・ハザードとは、契約の成立そのものが人間の行動を変化させ、契約前に想定した条件が適合しなくなるケースをいい、例えば、「自動車保険に入ることによって事故に対する注意が低下する現象」などが挙げられる。
- B シグナリングとは、品質の良い物を選ぶようとして、逆に品質の悪い物を選んでしまう可能性を防ぐための方法として、情報を持つ側が品質を表すシグナルを発信することをいい、例えば、「衣料やバッグのブランド」などが挙げられる。
- C 逆選択とは、情報を持たない側が複数の契約条件を提示し、その中から相手に選択させることにより相手の属性を顕示させる方法をいい、例えば、「2種類の契約形態を用意した保険契約」などが挙げられる。
- D 自己選択とは、情報の所在の偏りのせいで、本来の当事者の意図に反して質の悪いものばかりが市場で選択されてしまう現象をいい、例えば、「中古車市場に性能が悪い車ばかりになること」などが挙げられる。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

【No. 26】 ある国の経済が、

$$\begin{aligned} Y &= C + I + G + EX - IM & \left[ \begin{array}{l} Y : \text{国民所得、} C : \text{消費、} I : \text{投資} \\ G : \text{政府支出、} EX : \text{輸出、} IM : \text{輸入} \end{array} \right] \\ C &= 0.7Y + 100 \\ I &= 110 \\ G &= 30 \\ EX &= 120 \\ IM &= 0.1Y \end{aligned}$$

で示されるとする。この国の経済において完全雇用国民所得が1000のとき、インフレ・ギャップ又はデフレ・ギャップが発生した場合、このギャップを解消するためにとられる政策の記述として、妥当なのはどれか。

- 1 40の増税を行う。
- 2 40の減税を行う。
- 3 60の増税を行う。
- 4 60の減税を行う。
- 5 100の政府支出を減らす。

【No. 27】 公衆の保有する現金通貨をC、預金通貨をD、市中銀行の支払い準備金をR、ハイパワード・マネーをH、マネー・サプライをMとする。このとき、

$$M = C + D$$

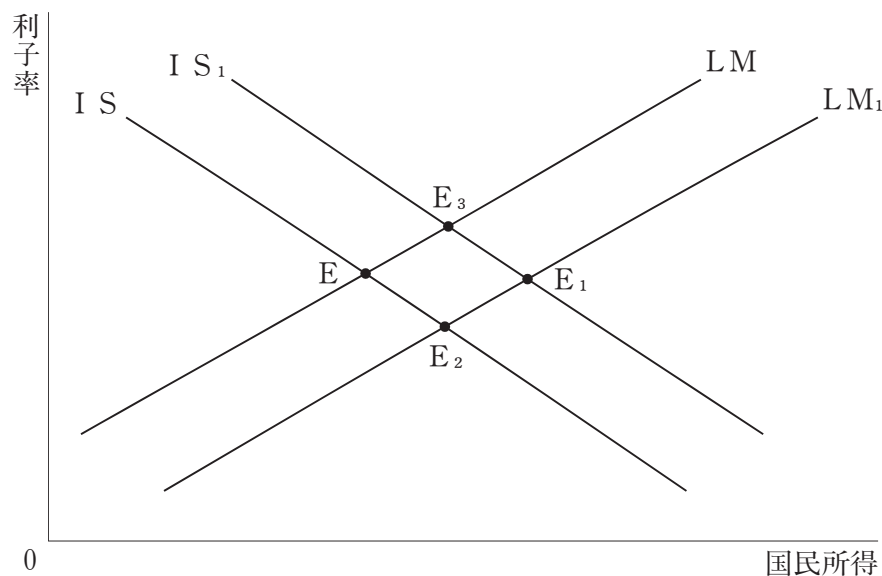
$$H = C + R$$

が成り立つものとする。

今、現金・預金比率  $\frac{C}{D} = 0.5$ 、支払い準備金・預金比率  $\frac{R}{D} = 0.3$  であるとすると、ハイパワード・マネーが50億円増加された場合、貨幣乗数式に基づいて計算したときのマネー・サプライの増加額はどれか。

- 1 18億7,500万円
- 2 31億2,500万円
- 3 81億2,500万円
- 4 93億7,500万円
- 5 100億円

【No. 28】 次の図は、縦軸に利子率を、横軸に国民所得をとり、IS曲線とLM曲線を描き、その交点をE、IS曲線が右側にシフトした線をIS<sub>1</sub>曲線、LM曲線が右側にシフトした線をLM<sub>1</sub>曲線とし、その交点をE<sub>1</sub>、IS曲線とLM<sub>1</sub>曲線の交点をE<sub>2</sub>、IS<sub>1</sub>曲線とLM曲線の交点をE<sub>3</sub>で表したものであるが、図に関する記述のうち、妥当なのはどれか。



- 1 財政政策による政府支出が、市中消化による国債の形で賄われた場合には、その分だけ貨幣供給量が増加するから、LM曲線が右方向にシフトし、均衡点はEからE<sub>2</sub>に移る。
- 2 流動性のわなが発生した場合、財政政策は無効となり、IS曲線が右方向にシフトし、均衡点はEからE<sub>3</sub>に移る。
- 3 IS曲線とLM曲線が交差する点Eでは、生産物市場と貨幣市場の双方において同時に均衡が成立するが、債券市場の均衡は同時には成立しない。
- 4 財政政策による政府支出が、中央銀行引受けによる国債の形で賄われた場合には、その分だけ貨幣供給量が増加するから、LM曲線がIS曲線のシフトに連動して移動し、均衡点はEからE<sub>1</sub>に移る。
- 5 クラウディング・アウトが発生した場合、利子率は下がり、LM曲線が右方向にシフトし、均衡点はEからE<sub>2</sub>に移る。

【No. 29】 新古典派成長理論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 新古典派成長理論では、資本係数が可変的であるため、投入される資本又は労働のどちらか一方だけが2倍になると生産量も2倍になる。
- 2 新古典派成長理論では、1単位の財の生産には一定の量の資本と労働が必要であり、資本係数が可変的であるため、資本と労働との間に代替性は存在しない。
- 3 新古典派成長理論では、企業の投資行動は経済成長を不安定にする傾向があるとし、現実の成長率が保証成長率から離れると企業の投資行動によって、ますます離れていくモデルを構築した。
- 4 新古典派成長理論では、貯蓄率が上昇すると、資本・労働比率が上昇するが、1人当たりの所得は低下する。
- 5 新古典派成長理論では、労働人口の増加率が上昇すると、資本・労働比率は低下し、1人当たりの所得は低下する。

【No. 30】 次の表は、封鎖経済の下で、すべての国内産業がA、B及びCの3つの産業部門に分割されているとした場合の単純な産業連関表であるが、表中のA～カに該当する数字の組合せとして、妥当なのはどれか。

投入 \ 産出		中間需要			最終需要	総産出額
		A産業	B産業	C産業		
中間投入	A産業	20	30	50	ア	イ
	B産業	40	40	20	60	160
	C産業	ウ	30	110	60	エ
付加価値		100	オ	90		
総投入額		230	カ	270		

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	130	220	60	260	60	160
2	120	220	60	270	50	150
3	120	220	60	260	50	150
4	130	230	70	270	50	160
5	130	230	70	270	60	160

【No. 3 1】 次の文は、公共財に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語の組合せとして、妥当なのはどれか。

公共財は、私的財と異なり、消費における  と  という性質を持つ財として定義される。

消費における  とは、ある人の消費が他の人の消費可能性を減らさないことをいい、消費における  とは、対価を支払わない人の消費を妨げることが著しく困難であるということである。この二つの性質を併せ持った財は、純粹公共財といわれ、例として  や  がある。

	A	B	C	D
1	競合性	排除性	国防	交通
2	非競合性	非排除性	国防	消防
3	排除性	競合性	教育	保健
4	非排除性	非競合性	警察	交通
5	競合性	排除性	警察	保健

【No. 3 2】 我が国の予算の形式に関するA～Dの記述のうち、妥当なものを選んだ組合せはどれか。

- A 予算総則は予算の総括的規定であり、公債又は借入金の限度額、財務省証券の発行及び一時借入金の借入最高額、建設国債の対象となる公共事業の範囲も規定されている。
- B 歳入歳出予算は予算の本体で、歳入予算は所管別、組織別に大別し、目的に応じて項、目、目の細目に区分され、一方、歳出予算は、主管別に大別し、性質に応じて部、款、項、目に区分されており、目までの区分は議定科目として国会の議決を要する。
- C 継続費は、工事、製造その他事業で、その完成に数年度を要するものについて、あらかじめ国会の議決により経費総額のみを定めて数年度にわたって支出できる経費で、当該経費の年割額については、次年度以降国会へ報告をしなければならない。
- D 国庫債務負担行為は、法律に基づくもの又は歳出予算の金額若しくは継続費の総額の範囲内におけるもの以外で国が債務を負担する行為をなす場合には、あらかじめ国会の議決を経なければならないとするもので、契約締結は年度内にする必要があるが、支払いは次年度以降になるようなときに用いられる。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D



【No. 3 3】 次の文は、租税の転嫁と帰着に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語の組合せとして、妥当なのはどれか。

租税負担を他者に移転することを転嫁といい、最終的な負担者に租税負担が落ち着くことを帰着という。転嫁のうちでも、納税者である財・サービスの販売者が、租税負担を価格に上乗せして購買者に転嫁することを前転という。また逆に、納税者である購買者が、租税負担を価格の引き下げによって販売者に転嫁することを後転という。いったん、前転や後転された租税負担がさらに別の経済主体に転嫁されることを  といい、市場における価格を媒介にした転嫁ではなく、生産性の上昇によって生産過程で租税負担を吸収してしまうことを  という。

一般に租税の転嫁は、需要と供給の価格弾力性に依存すると考えられている。需要曲線の傾きは、需要の価格弾力性によって、供給曲線の傾きは、供給の価格弾力性によって決まる。需要の価格弾力性が完全に  である場合には、租税は完全に販売者から購買者へ転嫁されることになる。逆に需要の価格弾力性が完全に  である場合には、租税を全く転嫁することができず、販売者が租税をすべて負担する。

	A	B	C	D
1	更転	消転	弾力的	非弾力的
2	更転	消転	非弾力的	弾力的
3	消転	更転	弾力的	非弾力的
4	消転	更転	非弾力的	弾力的
5	還元	更転	弾力的	非弾力的

【No. 3 4】 公債負担の考え方に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 スミスらの古典派は、一国全体の利用可能な資源は限られている以上、財政支出の時点で民間の資源が公的部門に移転し減少するという点で、租税も公債も同じく現在世代の負担になり、将来世代に負担は転嫁されないとした。
- 2 ブキャナンは、負担を資本蓄積の減少による将来所得の減少ととらえ、公債による財源調達は、租税に比べ、より大きな民間投資の減少をもたらして将来所得を減少させるので、将来世代に負担が転嫁されるとした。
- 3 モディリアーニは、負担を個人レベルでの効用や利用可能な資源の強制的な減少ととらえ、租税は強制的取引であるから公債償還のための課税には負担が生じ、発行時世代から償還時世代への負担の転嫁が起こるとした。
- 4 ボーエン＝デービス＝コップは、負担を生涯消費の減少ととらえ、世代を越えて公債の発行と償還が行われると、現在世代よりも将来世代の消費量が減少し、将来世代に負担が転嫁されるとした。
- 5 ケインズ派は、公債発行により民間資金が非生産的な公共支出に転換するため、民間資本蓄積が阻害されて将来の生産力が減少し、また、将来世代に元利償還のための租税負担をもたらす結果、将来世代に負担が転嫁されるとした。

【No. 35】 地方債に関するA～Dの記述のうち、妥当なものを選んだ組合せはどれか。

- A 地方公共団体は、地方債を発行する場合に、総務大臣又は都道府県知事への協議において同意を得た地方債についてのみ、当該同意に係る政令で定める公的資金を借り入れることができる。
- B 普通税の税率のいずれかが標準税率未満である地方公共団体は、学校や保育所などの公共施設の建設事業費の財源とする地方債の発行や起債方法の変更をすることが一切できない。
- C 赤字が一定水準以上の地方公共団体、起債制限比率の高い地方公共団体、地方債の元利償還が遅延している地方公共団体は、地方債の発行や起債方法の変更をすることが一切できない。
- D 地方公共団体の歳出は、原則として地方債以外の歳入をもって、その財源としなければならないが、地方債の借換えのために要する経費の財源とする場合は、地方債をもってその財源とすることができる。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

【No. 3 6】 意思決定論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 サイモンは、組織における人間の意思決定とは、目的設定にかかわる事実前提と手段選択にかかわる価値前提から結論を導き出す過程であるとし、価値前提から導かれる意思決定を経営の主たる問題として取り上げた。
- 2 サイモンは、現実の意思決定における合理性は、制約された条件の中で自らの知識や経験に照らして可能な限り合理的に選択を行おうとする管理人仮説に基づく制約された範囲内での合理性になるとした。
- 3 サイアート＝マーチは、企業の意思決定を戦略的意思決定、管理的意思決定、業務的意思決定の3つに分類し、管理的意思決定は、必要な組織構造を形成し、諸資源を能率的に調達、開発するための意思決定であるとした。
- 4 サイアート＝マーチは、組織において各組織参加者が行う意思決定には、組織に自己の努力を提供するか否かについて行う個人的意思決定と、組織目標の効果的かつ効率的達成を行うための組織的意思決定の2つの方法があるとした。
- 5 バーナードは、企業の意思決定過程を研究する上での重要な概念として、コンフリクトの準解決、不確実性の回避、問題志向的な情報探索、組織による学習の4つを示した。

【No. 3 7】 ファヨールの経営管理論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 ファヨールは、科学的管理法の中で、作業能率を上げるために計画機能を重視し、生産現場の監督者としての視点から管理の必要性を説いた。
- 2 ファヨールは、管理職能はすべての階層の監督者、管理者に必要な能力であり、管理階層が上になるに従って、一人の管理者の全体の能力の中で管理能力の占める比重が増大していくことを経験的に主張した。
- 3 ファヨールは、管理能力は経験によってのみ修得され、管理教育では得られないとし、自らの体験に基づいて14の管理原則を提示した。
- 4 ファヨールは、管理原則の中で、複数の上司から命令を受ける専門化の原則を追求したファンクショナル組織を提唱し、命令の一元化を否定した。
- 5 ファヨールは、管理活動は技術活動、商業活動、財務活動、保全活動、会計活動からなるものとし、すべての事業は、社会体ないし組織を通じて行われる限り、組織の形成、維持のために管理活動が必要であるとした。

【No. 38】 事業部制組織又はマトリックス組織に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 事業部制組織のメリットとしては、市場へ機動的に対応できること、後継者を育成できること、経営トップが全社的な戦略プロジェクトに専念できることが挙げられる。
- 2 マトリックス組織は、ツー・ボス・システムであることから、責任、権限関係が明確となるが、コミュニケーションが図れないといった問題がある。
- 3 事業部制組織では、各事業部内は製品別に組織が編成され、集権化により伝達経路が短縮され、正確かつ迅速な対応ができる。
- 4 マトリックス組織は、事業部制組織がもたらす効率性の追求とプロジェクト型組織がもたらす市場対応の同時達成を目指すため、事業部門とプロジェクト部門とを恒常的にクロスさせた組織である。
- 5 事業部制組織のデメリットとしては、全社的に経営資源の重複が起りやすいこと、短期的な視点からの経営が損なわれやすいこと、セクショナリズムに陥りやすいことが挙げられる。

【No. 39】 次の表は、製品市場戦略におけるアンゾフの成長ベクトルのマトリックスを表したものであるが、表中の空所A～Dに該当する語の組合せとして、妥当なのはどれか。

製品 市場	現製品	新製品
現市場	A	C
新市場	B	D

- |   | A      | B      | C      | D      |
|---|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 市場開発戦略 | 多角化戦略  | 市場浸透戦略 | 製品開発戦略 |
| 2 | 市場浸透戦略 | 市場開発戦略 | 製品開発戦略 | 多角化戦略  |
| 3 | 製品開発戦略 | 市場開発戦略 | 市場浸透戦略 | 多角化戦略  |
| 4 | 市場浸透戦略 | 多角化戦略  | 市場開発戦略 | 製品開発戦略 |
| 5 | 製品開発戦略 | 市場開発戦略 | 多角化戦略  | 市場浸透戦略 |

【No. 4 0】 我が国の企業形態に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 合名会社は、出資者全員が無限責任社員で成り立っており、出資である持分の譲渡に関しては、他の社員の同意を必要としない典型的な人的結合会社である。
- 2 合資会社は、出資額を限度として会社の損失に対して責任を持つ有限責任社員と無限の責任を持つ無限責任社員から構成されており、有限責任社員と無限責任社員は共に業務執行権を有するが、代表権は有限責任社員のみが有する。
- 3 合同会社は、2006年施行の会社法により新設された会社形態であり、社員全員が出資義務を負う有限責任社員であるが、定款に定めがなくても利益分配の方法を出資額に関係なく自由に決定することができる。
- 4 株式会社は、不特定多数の出資者を募ることができ、出資者に出資額以上のリスク負担及び責任を求めない有限責任制を全出資者に適応し、所有と経営が分離されている。
- 5 相互会社は、保険会社以外にも広く非営利法人に認められた会社形態であり、保険事業を営む企業の場合は保険加入者が社員となり、社員総会に代わって社員の代表者による社員総代会を設置することが認められている。

【No. 4 1】 ダールの権力論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 ダールは、「権力とはある社会関係の中で抵抗を排してでも自己の意思を貫徹しうる可能性である」と定義するとともに、権力の本質は強制力にあり、強制力を持つ少数者が他者を服従させると主張した。
- 2 ダールは、アメリカ社会を歴史的に分析した結果、権力の集中化の傾向を見出し、軍部、大企業経営者、政党幹部の三者に権力が集中し、相互に結びつきを強めパワー・エリートを形成していると主張した。
- 3 ダールは、「さもなければBがしなかったような事柄をBに行わせる場合、その度合いに応じてAはBに対して権力を持つ」と定義し、権力を、それを使用する者と行使される者との間の相互関係においてとらえた。
- 4 ダールは、権力行使の基盤となるものを権力基底と呼び、20世紀の社会的価値の多元化を背景に、富、知識、技能、尊敬、愛情など多様な能力や資質が権力行使の基盤になることを指摘した。
- 5 ダールは、政治権力を「目標達成のために社会的資源を動員する能力」と定義し、政治権力が社会全体としてプラスの利益を生んでいるとする権力の非零和概念を提示した。

【No. 4 2】 ロールズの正義論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 ロールズは、原初状態における人間は、自由かつ平等で、強制や干渉を受けず正義の原則を選択することができるので、最終的に選択するのは、社会全体の利益を最大化することを求める功利主義の原理であると主張した。
- 2 ロールズは、マキシミン・ルールとは、原初状態のような不確定状況において、人間は常に最悪の事態を想定してリスク回避を優先することよりも、物事が最も理想的に進んだ場合を選択する行動パターンであるとした。
- 3 ロールズは、正義の観点から、国防、警察、契約履行の保障といった機能だけを果たす最小国家の正当性を主張し、20世紀になって展開された福祉国家型自由主義を自由主義の本質からの逸脱であるとした。
- 4 ロールズは、正義の2原理として、第1原理の社会的・経済的不平等の問題に関するものと第2原理の平等な自由原理を提示し、第1原理は第2原理に対して優先するとした。
- 5 ロールズは、社会的・経済的不平等の問題に関して、格差原理と公正な機会均等原理が満たされる場合には、一定の不平等を許容することが正義にかなうと主張した。

【No. 4 3】 政治意識に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 政治意識とは、我が国の政治学における独特の概念で、人々が政治一般や特定の政治問題に対して持つものの見方、考え方をいい、これには政治的態度を含むが、政治的行動は含まれない。
- 2 政治的無関心は、政治から排除されたりすることによって政治的知識、情報が欠如する伝統的無関心と、高度な知識、情報を有するが政治的疎外感、無力感から政治に対して冷淡な現代的無関心とに、アイゼンクにより分類された。
- 3 脱政治的態度とは、経済、芸術、宗教など政治以外のものに関心を集中する結果、政治に対する知識や関心が低下するもの、無政治的態度とは、政治そのものを軽べつ又は否定する態度であるとラスウェルによって定義された。
- 4 反政治的態度とは、自分の所属する社会や集団の政治状況に対する関心や参加の程度が低く、政治過程に対して積極的な反応を示さない態度であるとリースマンによって定義された。
- 5 政治的社会化とは、社会の成員が、その社会で一般的に行われている政治的価値観や態度を習得し、同化していく過程、あるいは世代間で政治文化を継承する過程である。

【No. 4 4】 各国の政治制度に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 アメリカでは、厳格な三権分立制が採用されていることから、大統領は議会への法案提出権がない代わりに、「教書」の形で政策上必要な立法措置を議会に要請する勸告機能を有する。
- 2 イギリスでは、成文憲法が不在であり、議会は上下両院で構成されているが、下院は終身の非民選議員からなっており、今日では実質的な権限は有しておらず、実質的な権限を有しているのは上院である。
- 3 日本は、イギリス型に近い議院内閣制であり、内閣総理大臣は国会の議決で国会議員の中から指名され、裁判所にはイギリスと同じく違憲立法審査権が与えられている。
- 4 フランスでは、アメリカと同様に大統領制であるが、大統領は首相と閣僚の任命権と元老院の解散権を持ち、元老院には内閣不信任権があるので、アメリカほど徹底した大統領制ではなく、「半大統領制」などともいわれる。
- 5 ドイツでは、実質的な指導者としての強力な権限を持つ大統領がおり、大統領には首相の任命権と議会の解散権が与えられていて、首相の仕事の大部分は形式的かつ象徴的なものとなっている。

【No. 4 5】 現代政治の理論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 リップマンは、「政治における人間性」を著し、政治において人間の非合理的な要素が重要な役割を果たすことを強調し、人は自他の利害に関して常に合理的判断に基づいて行動するとする主知主義を強く批判した。
- 2 ウォーラスは、「統治の過程」を著し、政治を諸集団間の対立と相互作用、政府による調整の過程ととらえたが、その研究は同時代人からは必ずしも評価されなかった。
- 3 トルーマンは、ウォーラスと同様に重複的メンバーシップや潜在的集団を政治の安定的条件として重視したが、ウォーラスが集団力学的発想に立っていたのに対して、トルーマンは社会心理学的発想に立っていた。
- 4 ベントレーは、「世論」を著し、人々が情報を単純化したり、わい曲したりすることをステレオタイプと呼び、政治エリートはステレオタイプを巧みに操作することで、世論を形成することが可能になるとした。
- 5 イーストンは、「政治分析の基礎」を著し、政治システムは入力を入力に変換する装置であり、入力として要求と支持を、出力として権威的決定を挙げ、出力が入力に影響を及ぼす現象がフィードバックであるとした。



【No. 4 6】 シュタインの行政学に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 シュタインは、社会とはあらゆる個人の意思と行為が人格的統一にまで高められた共同体であるとした。
- 2 シュタインは、国家とは意思と行為として、その人格の面において登場する人間の共同体であるので、国家と社会は原理的に対立するものではないとした。
- 3 シュタインは、憲政と行政は行政に対する憲政の絶対的優越性を説く法治行政原理の関係にあるとした。
- 4 シュタインは、憲政とは人格的な国家共同体を構成する個人の国家意思決定への参与であり、行政とは国家意思とその客体である社会との関係における国家の活動であるとした。
- 5 シュタインは、官房学において警察学という学問を確立するとともに、警察学を財政学から分化させる必要を強調して財政学を警察学的手段として位置付けた。

【No. 4 7】 我が国のNPM改革に関するA～Dの記述のうち、妥当なものを選んだ組合せはどれか。

- A 指定管理者制度は、地方自治法の一部改正により、管理委託制度から公の施設の管理をNPOや地域団体、さらには株式会社をはじめとする民間企業にも広く開放するものである。
- B PFIは、民間の資金、技術的能力を活用して、国や地方公共団体が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共施設が建設される場合に限って適用される。
- C 独立行政法人通則法に基づく独立行政法人制度は、イギリスのエージェンシー制度をモデルとし、企画・立案と執行の分離という理念の下に創設され、職員はすべて国家公務員としての身分を失った。
- D 市場化テストは、行政機関の仕事とされてきた業務に民間との競争入札を導入し、競争原理の中でより効率的なサービスを提供できるようにする仕組みである。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

【No. 48】 我が国の中央行政機構における行政委員会又は審議会に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 行政委員会の設置理由には、政治的中立を要する場合、複雑な利害を調整する場合、高度の専門性を要する場合、慎重な手続を要する場合が挙げられる。
- 2 審議会は、行政機関が社会の識者や諸団体の意見を聞くための諮問機関であり、府省庁の外局として設置される合議制の機関である。
- 3 行政委員会は、一般行政機構から独立した独任制の機関であり、規則を制定する準立法権や裁決を行う準司法権を持つことがある。
- 4 審議会は、国民社会の様々な意見、利害を政治過程に反映する制度的ルートであり、行政委員会と同様に、行政機関としての決定権限を持っている。
- 5 行政委員会は、独自の判断と責任に基づいて行政事務を処理するため、責任の所在が明確になり、決定までの時間が早いといった長所を備えている。

【No. 49】 マックス・ウェーバーの官僚制論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 マックス・ウェーバーは、官僚制はピラミッド型組織であるため、一群の特権的官吏団が政治の実権を握り、一般市民の自由が侵害されるおそれのある状況が出現することを指摘した。
- 2 マックス・ウェーバーは、支配の正統性の観点から支配の類型を三つに分け、近代官僚制は、法や規則に基づき、個人の主観を排する形式主義的な支配で、伝統的支配の典型的な形態であるとした。
- 3 マックス・ウェーバーは、公的活動と私的生活を明確に分離している限り、兼業や副業で働いている職員や名誉職的な職員も典型的な官僚制職員になるとした。
- 4 マックス・ウェーバーは、官僚制の逆機能の存在を指摘し、規則は組織における行動の信頼性を高めるが、それらの規則は目指す目的と切り離され規則それ自体が絶対的なものと見なされがちになるとした。
- 5 マックス・ウェーバーは、近代官僚制の構成要件として、明確な権限の原則を挙げ、業務は規則に定められた明確な権限の範囲内で行われるものであるとした。

【No. 5 0】 行政機関の保有する情報の公開に関する法律（行政機関情報公開法）に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 行政機関情報公開法が定める行政機関に対する行政文書の開示請求は、国籍にかかわらず誰でもでき、国会は開示請求の対象となるが、最高裁判所は開示請求の対象に含まれない。
- 2 世界で最初に情報公開を制度化した国はスウェーデンであり、日本では自治体レベルが先行し、1982年に山形県金山町の情報公開条例から始まり、国レベルでは行政機関情報公開法が1999年に制定された。
- 3 行政機関情報公開法の対象となる行政文書は、決裁の事案処理の経たしたものに限られ、決裁前の作成中の文書、図画及び記録媒体は対象とされていない。
- 4 行政機関情報公開法の定める開示決定等について、請求者が公開を拒否された場合に行政不服審査法に基づく不服申立てはできるが、当該不服申立てに対する裁決に不服がある場合に訴訟を提起することはできない。
- 5 行政機関情報公開法が定める不開示情報は、個人に関する情報、法人等に関する情報、国の安全等に関する情報、公共の安全等に関する情報に限られており、その他すべての情報の公開が行政機関に義務付けられている。

【No. 5 1】 社会変動論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 コントは、人間社会の発展は人間の精神の進化に見合うものとし、精神の神学的段階に対応するのは軍事的社会であり、形而上学的段階には産業的社会が対応し、実証的段階に対応するのが法律的社会であるとした。
- 2 スペンサーは、社会が、相対的に不確定で不緊密な異質性から確定的で緊密な同質性へと進化する方向は、そのまま単純社会から複合社会へ、軍事型社会から産業型社会への社会進化のコースにほかならないとした。
- 3 デュルケームは、社会は、社会成員の没個人的な類似による結合を特徴とする機械的連帯から、社会成員の個性的な差異を基礎とした分業の発達によって生じる結合を特徴とする有機的連帯へと進化するとした。
- 4 パレートは、離陸以後、高度大衆消費時代に突入した先進産業社会は、社会体制のいかんを問わず、それが機械化された工場生産を軸とする巨大な分業・交通システムである限り、次第に類似した状態にたどり着くとした。
- 5 ロストウは、循環論の立場から、社会の一定方向での発展を認めず、歴史的社会的循環的反复、傾向のない周期を主張し、エリートの周流による均衡の破たんと同復の過程を唱えた。

【No. 5 2】 社会集団に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 メイヨーは、顔と顔を突き合わせた親密な結び付きと緊密な協力とにより特徴付けられる集団を第一次集団とし、その対比として、意図的に形成される集団で、間接性と非人格性を特質とする集団を第二次集団と規定した。
- 2 テンニースは、本質意志により、全人格的融合と信頼に基づく共同的集団をゲゼルシャフトとし、選択意志により、合理的選択と打算による契約に基づく潜在的闘争と不信を含む利益的集団をゲマインシャフトとした。
- 3 クーリーは、内集団を個人自らが所属意識を持ち愛情を抱いている集団、外集団を他者に敵意や違和感を持ったり所属意識を感じないような集団とし、前者をわれわれ集団、後者を彼ら集団と名付けた。
- 4 マッキーヴァーは、コミュニティは市町村や国のように一定地域に住む人々の共同生活全体のことであり、アソシエーションは特定の成員資格を持つ人々が限定的な利益や便宜を獲得するために人為的につくる機能集団とした。
- 5 サムナーは、ホーソン実験におけるインフォーマル組織の発見により、フォーマルな集団の中に自然発生的に形成されたインフォーマルな組織が、フォーマルな組織の生産性を左右するとした。

【No. 5 3】 次の文は、バージェスの同心円地帯理論に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語の組合せとして、妥当なのはどれか。

□ A □ 学派の一員であったバージェスは、人間生態学の立場から産業社会における都市が5つの同心円から成立していることを主張した。最も内側の環は中央ビジネス地区であり、そこには高級店舗、オフィス、銀行、娯楽施設などが存在する。2番目の環は□ B □ である。そこは中央ビジネス地区が外側に向けて拡大するにつれて発展する地域であり、結果として相対的に安価な住宅を供給する荒廃した地域となる。3番目の環は□ C □ であり、4番目の環は中産階級が居住する郊外地区である。そしてさらにその外側には□ D □ が広がるとした。

	A	B	C	D
1	フランクフルト	通勤者地帯	労働者住宅地帯	遷移地帯
2	フランクフルト	労働者住宅地帯	遷移地帯	通勤者地帯
3	シカゴ	遷移地帯	通勤者地帯	労働者住宅地帯
4	シカゴ	労働者住宅地帯	通勤者地帯	遷移地帯
5	シカゴ	遷移地帯	労働者住宅地帯	通勤者地帯

【No. 5 4】 逸脱行動に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 マートンは、文化的に制度化された成功目標とその達成に利用できる手段や機会との間の調和的な関係が崩れる状態をアノミーとし、このような下で犯罪などの逸脱行動が発生すると考えた。
- 2 ハーシは、社会集団はこれを犯せば逸脱となるような規則を設け、それを特定の人々に適用し、彼らにアウトサイダーのレッテルをはることによって、逸脱を生み出すと定義した。
- 3 コーエンは、スティグマとは、ある社会における好ましくない違いであり、この違いに基づいてスティグマを負った者に対する敵意が正当化され、又は本人の危険性や劣等性が説明され、その結果、様々な差別が行われるとした。
- 4 ベッカーは、人の社会的なつながりを愛着、投資、まきこみ、規範観念の4つの要素に分解し、青少年を対象とした自己申告データを使って、そのそれぞれが非行に対する抑制効果を持つという仮説を検証した。
- 5 ゴフマンは、青少年の非行集団に共通して見られる文化を分析し、それがアメリカ社会において支配的な中流階層の行動基準に対抗して形成された下流階層の集団的問題解決の様式であるとした。

【No. 5 5】 次のA～Eのうち、アドルノたちによる権威主義的パーソナリティの特性に該当するものを選んだ組合せとして、妥当なのはどれか。

- A 伝統的な因習に対する批判的な態度
- B 権威を認められている存在への非合理的な従順
- C 現実主義に対するシニシズム
- D 自主的・自律的な人間として成長しえなかったパーソナリティ
- E 人間を内面的基準によってのみ区別するステレオタイプ化した偏見

- 1 A C
- 2 A D
- 3 B D
- 4 B E
- 5 C E